

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人エール・フォーユー
--------------------

### ②評価調査者研修修了番号

19-13
S15006
S18007

### ③施設名等

名称：	鶴岡乳児院
施設長氏名：	佐藤雅之
定員：	10名
所在地(都道府県)：	山形県
所在地(市町村以下)：	鶴岡市道形町49-6
T E L：	0235-22-1317
U R L：	<a href="https://www.pref.yamagata.jp/097004/kensei/shoukai/soshikiannai/kosodatesuishin/097004.html">https://www.pref.yamagata.jp/097004/kensei/shoukai/soshikiannai/kosodatesuishin/097004.html</a>
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1952/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	山形県
職員数 常勤職員：	24名
職員数 非常勤職員：	23名
有資格職員の名称（ア）	管理栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	15名
有資格職員の名称（ウ）	看護師
上記有資格職員の人数：	8名
有資格職員の名称（エ）	心理療法士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	嘱託医
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	4居室 56.7㎡
施設設備の概要（イ）設備等：	乳児・幼児寝室 64.8㎡
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

### ④理念・基本方針

<b>【理念】</b>
1 子どもたちの生命を守り、健全な心身の発達を目指します。
2 子どもたちの人権を尊重し、最善の利益を守ります。
<b>【基本方針】</b>
1 安全・安心な養育環境と体制の整備
2 保育看護の専門性の向上
3 個別的養育の実践
4 児童養護施設、里親及び児童相談所との連携・協働による継続的な家庭支援の推進
5 地域との交流促進（ボランティアを含む）と地域社会への貢献

### ⑤施設の特徴的な取組

入所児童の安全な養育環境での心身の発達を支援し、職員の資質及び養育技術の向上を図るため、外部委員を含む安全委員会を設置、開催している。
---

### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/8/20	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/1/22	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度	

## ⑦総評

### ◇評価の高い点◇

#### 1、子どもを尊重した養育・支援について

職員は乳児院の基本姿勢である理念2項目・基本方針5項目と年度毎の養育目標の周知を図り、支援マニュアルをもとに標準的な支援と個別的な支援を行っています。アンケート調査や自己チェック表で処遇を振り返り、研修会の参加や安全委員会の意見を参考にして養育技術の向上に努めています。子どもと保育者1対1の保育担当制を実施し、2人だけの院外保育や子どもの個性を大切に成長を見守り、愛着関係を育むことで心の安定に繋がり、自分は愛されていると感じて表情にも表れてきています。今年度から子どもの定員が10名と減少しましたが職員体制はほとんど変わらずこれまで以上の支援を心がけています。各種の定例会議で支援の実施方法の評価・見直しを行い、休憩前に15分間の研修の機会を設けて職員同士の情報交換や共有化を図り、子ども一人ひとりに寄り添った養育・支援を行っています。

#### 2、安全委員会について

入所児の最大の利益と事故防止を目的として安全委員会を平成29年に設置し、有識者8名からなる外部委員と職員による内部委員で構成され、養育に関して客観的な視点での検証を定期的に行っています。審議内容のアドバイスを受けて職員は養育・支援の現場に活かし、子どもの心身の発達や安心・安全な生活と健やかな成長に繋がっています。

### ◇改善が求められる点◇

#### 1、「期待する職員像」について

乳児院の職員は専門性を持った有資格者が多く、年2回自らの業務目標を作成して院長との面接で評価とアドバイスをもらっていますが、子どもの養育・支援のさらなる質向上に繋がるよう施設の理念・基本方針を踏まえて「期待する職員像」を掲げ、職員が自らの将来像を描くことができるよう期待します。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価の実施にあたっては、評価機関の方から丁寧な対応していただきありがとうございました。今回の評価で良い評価をいただいた項目については引き続き継続してまいります。また、改善が必要な項目については子どもの養育・支援の質の向上につながるよう取り組むとともに、1つ1つの項目について職員全体で問題意識を共有し改善に向けて努力していきます。

今回の評価結果をふまえ、今後とも入所児童の安全安心、健やかな発達に向け、よりよい養育環境を提供していきます。

## ⑨第三者評価結果（別紙）

## 自己評価結果表【タイプA】(乳児院)

## 共通評価基準(45項目) I 養育・支援の基本方針と組織

## 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
理念と基本方針を掲げ、年度当初に運営方針を策定して行動規範とし、子どもの安心・安全と健やかな成長を願って養育・支援にあたっている。保育室にも掲示して周知を図り、保護者等が来所した際にも確認できるようにしている。		

## 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
会議や研修会への参加と会報等により動向を把握している。関係機関と連携して施設を取り巻く環境と課題を分析し、職掌範囲の中で施設運営に取り組んでいる。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	
【判断した理由・特記事項等】		

県の子ども家庭課が経営課題の分析を行っている。乳児院としての重要性を認識し、県と連携し職員参画のもとで状況を把握分析して業務改善やコスト削減など環境変化に応じた施設運営と維持管理に努めている。

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
県の子ども家庭課において社会情勢の変化などを踏まえ、養育・支援の内容と組織体制の整備、職員体制等の現状を分析して計画を策定している。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画は運営方針として策定し、重点目標を掲げて施設運営にあたっている。職員に年度当初や業務全体会議等において事業内容を示し周知を図っている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画については職員等の意見を集約し、課題を踏まえて策定している。運営方針として業務全体会議等で周知を図り評価も行っている。		

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
年2回発行する広報誌「レインボーハウスだより」で保護者等に事業の周知を図っており、主に夏祭りなどのイベントに関することが多く、内容はわかりやすいように配慮している。		

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
安全委員会を設置して大学教授や機関・団体からの参加者による外部委員と職員で構成する内部委員で組織し、課題を分析・検討して質の向上に努めている。アンケートの実施や意見の提起、定期的な自己評価の実施など組織的に取り組んでいる。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
アンケート調査の分析や問題提起による聞き取り調査を実施し、安全委員会で評価・検討を行い、改善計画を立てて取り組んでいる。前回の第三者評価で提起された安全対策やマニュアルの整備などに着手し、質の向上に繋がっている。		

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	<p>10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
<p>院長は年度初めの業務全体会議の中で年度の運営方針・重点目標・自らの役割と責任等について説明し、勤務の関係で出席できなかった職員には回覧等で周知を図っている。保護者等には広報誌に自らの取組等を掲載し表明している。</p>		
②	<p>11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
<p>院長は法令等を遵守し施設の管理運営等に取り組んでいる。法令関係等について職員に会議や委員会等で情報伝達を行い、朝の引き継ぎ時にも周知を図っている。</p>		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	<p>12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。</p> <p>(5種別共通)</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
<p>院長は養育・支援の質の向上に向けて職員の意見等を収集している。職員は個々に業務目標を作成して職務に取組み、上・下期に面接を実施し成果の確認やアドバイスを行っている。</p>		



②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
【判断した理由・特記事項等】		
院長は職員配置や業務に支障が生じないように、予算化や経営改善に取り組んでいる。職員面接等で希望を募り、働きやすい環境づくりや休暇等の消化についても尽力し勤務体制の整備を図っている。		

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	
【判断した理由・特記事項等】		
国の基準・県の方針に基づいて、専門的な福祉人材の確保に努めている。職員は24時間の交代制勤務となることから、専門職員の機能を活かせるように必要な人材を確保している。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
【判断した理由・特記事項等】		
施設の理念や基本方針に基づき、国・県の方針に沿った職員配置、人事管理を実施している。職員は各自業務目標を立てて院長との面接で、評価・アドバイスを受けているが、職務の向上等から、「期待する職員像」を明確に策定することを期待したい。		

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員の意見や意向は院長と面接等から把握し、年休や休暇等は取りやすくメンタルヘルス等の研修も行き、福利厚生は県全体で取り組んでいる。就業規則に基づき業務を行いワーク・ライフ・バランスにも配慮している。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

県の人事評価制度により職員一人ひとりが業務目標を立て業務にあたっており、自己評価や院長との面接等で評価や達成度の確認が行われている。本人へのフィードバックも行われ職員の育成に向けた取組を行っている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員研修計画を作成し取り組んでいるが、今年はコロナ禍でほとんどの外部研修が中止やリモートでの開催となっている。内部研修に参加できない職員に伝達研修を行うほか、資料を回覧している。



③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

業務概要に研修等の方針を明記して運営方針に年間計画を作成し取り組んでいるが、今年度はコロナ禍でほとんどの研修が中止となっている。例年は職員の階層別・職種別・専門別に合わせて必要な外部研修に参加しており、情報提供もしている。心理療法士から看護師や保育士に専門的な研修を実施し養育・支援の質向上に繋がっている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

実習生等の受け入れマニュアルを整備して受け入れ体制は整ってはいるが、環境の変化によって施設の方針が流動的であるため今年度は受け入れは行われていない。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	

【判断した理由・特記事項等】

事業計画、事業報告、予算、決算情報の公開は県の規程に基づいて行っており、ホームページでは基本情報を提供している。年2回(8月、1月)発行の広報誌は保護者や関係機関に配布して乳児院の活動を子どものプラバシーに配慮しながら発信している。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。 <input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	b
【判断した理由・特記事項等】		
毎年、県の監査委員会による監査を受け、継続して適正であるという評価を受けている。事務分担表を作成して業務毎に主任者・管理者・総括者を決めて責任を明確にしており、出納に関しては副院長と児童相談所と兼務する庶務係長とでダブルチェックする管理体制を構築している。		

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。 <input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。 <input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。 <input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	b
【判断した理由・特記事項等】		
毎年、乳児院主催の夏祭りに地域の方を招待しており、また近くの保育園児が散歩しながら来院して院庭で一緒に遊んだりしていたが今年はコロナ禍で休止している。保育担当者との院外保育では地域の人や自然と触れ合う機会となっている。長年継続して抱っこと縫い物ボランティアの受け入れを行っている。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 <input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。 <input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
職員のボランティア係が活動計画作成・連絡調整・登録事務などを行い、年1回はボランティア会議を開催して意見交換している。令和元年度の登録者数は44名で、新規登録時にはマニュアルに基づいてオリエンテーションを実施している。今年度はコロナ禍で自粛してもらっていたがクリスマス会の飾りつけの協力を得ている。		

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

庄内児童相談所は同一建物内にあり院長が児童相談所長を兼務しており、子どもの入・退所の決定を始め常に連携を図っている。発達が気になる子どもは機能・言語指導等のため隣接するこども医療療育センター庄内支所に通院している。子どもの健診などについては出身地や退所先の市町村の保健師と調整会議を開催して対応している。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

県内の民生委員の見学を受け入れており、今年度は看護学校の学生の見学予定が計画されていたがコロナ禍で中止となっている。鶴岡市や児童相談所主催の地域の子どものケース検討会に出席して現状を伝えている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

子育て短期支援事業(ショートステイ事業・トワイライトステイ等事業)を鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・遊佐町と契約し、2歳までの乳幼児を対象として養育者が、病気・出産・入院付き添い、出張、冠婚葬祭その他一時的に子どもの世話ができない等の理由がある場合に市町村が窓口となって養育・保護を行っている。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施  
1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	<p>28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】		
倫理綱領や養育マニュアル等を策定し、研修を重ねて共通した理解のもとで支援している。定期的にアンケート調査を実施してヒヤリハットや処遇向上に反映させている。		
②	<p>29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】		
個人情報保護規程や守秘義務規程に基づいて、施設の特性に合ったマニュアルを整備し周知を図っている。子どもの名前を出さないように注意したりおむつ交換やトイレトレーニング時などプライバシーに配慮して養育・支援が行われている。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	<p>30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。</p> <p><input type="checkbox"/>理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>見学等の希望に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
保護者等に対する情報提供については、同棟の児童相談所が窓口となって対応し、面会時の問いかけには児童相談所の許可の下で行っている。広報誌と一緒に「家庭通信」を作成して写真なども添えて知らせている。		



②	<p>31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。</p> <p><input type="checkbox"/>意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所が窓口となっており乳児院として説明する機会はほとんどないが、保護者によっては精神的疾患を抱えている場合もあり、子どもの利益が守られるよう児童相談所との連絡を密にして対応している。

③	<p>32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/>他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所が担当しているが依頼があれば移行に向けて養育・支援の内容に不利益が生じないように、食事やトイレ・起きる時間や寝る時間・アレルギーや病歴・予防接種などを記載した「生活状況表」を作成して対応している。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	<p>33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/>把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

職員は子どもたちとの日々の関わりのなかで、表情を見ながら職員間で情報共有しより良い養育・支援に取り組んでいる。職員アンケートをもとに安全委員会で職員の声を検討して、子どもの満足を把握するよう努めている。



(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	<p>34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。</p>	b
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

意見箱は玄関と面会室に設置し、意見を述べられるようにしており、保護者等との面会時にわかりやすく説明している。電話等での育児相談の場合には子どもの様子を伝えて安心できるよう配慮をしている。

②	<p>35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

保護者等には相談・意見・要望等が言えるように丁寧にわかりやすく面会の際説明をしている。広報誌や「家庭通信」等を利用して知らせ、意見等を述べやすいように取り組んでいる。

③	<p>36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

保護者等からの意見や要望への対応マニュアルを作成し、相談や意見に対しては、児童相談所と連携して組織的に対応している。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	<p>37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p> <p><input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。</p>	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

職員は睡眠時の事故対策として24時間体制で15分ごとの見回りをして記録し、さらに乳児には体動センサーを使用し呼吸等の異常を早期発見できるよう事故防止に努めている。外部委員8名を交え安全委員会を年3回開催し、ヒヤリハット等の分析や検討を行い安心・安全な養育・支援に繋げている。

②	<p>38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。</p> <p><input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。</p>	a
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

感染症対策マニュアルを整備し、感染症予防や対応等の研修を保険医療の専門職の指導のもと、定期的を開催して感染症予防等に取り組んでいる。新型コロナウイルス対策の新しいマニュアルを整備し子どもの安全確保に努めている。

③	<p>39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。</p>	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

非常災害避難訓練を毎月実施しており、あらゆる災害や時間帯等にも対応できるよう、訓練目標・想定・火災発生場所・災害発生箇所・避難場所を変え行っている。食料や衣類等と防災グッズを準備し、緊急連絡網を整備して組織的に取り組んでいる。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	b
【判断した理由・特記事項等】		
年間保育計画を作成し、つくしグループ（1歳4ヶ月未満）とひまわりグループ（1歳4ヶ月以上）に分けて年間目標と保育のねらいを策定して職員に周知を図っている。生活習慣（睡眠・排泄・栄養と食育・入浴と清潔・衣類の着脱）の支援方法は月齢ごとにマニュアル化されており、職員アンケートや処遇（理念）自己チェックリストで確認している。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 <input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。 <input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
今年度から始めた職員の支援方法の調整などを話し合う15分間の研修は、貴重な情報交換の場となっている。定例のグループ（つくし・ひまわり）会議・保育会議・業務全体会議の流れに沿って養育・支援の実施方法の見直しが行われており、全体で養育の質向上に取り組んでいる。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。 <input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 <input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
入所時に「入所時間診表」による聴き取り調査を行い、1ヶ月の観察期間を経て入所より2ヶ月以内に保育担当者が担当児童の発達・発育状況、家庭状況の変化、児童相談所の方針などの情報から入所時の児童自立支援計画を作成している。定期的には年2回（6月、12月）作成し、半年後の姿をイメージした目標を設定している。		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童自立支援検討会を開催して、検討会メンバー（院長、総保育長、個別処遇係、担当職員、心理療法士等）に児童自立支援計画の評価・見直しを検討してもらい、児童自立支援方針を決定している。支援方針をもとに保育担当者が個別の月間指導計画を作成して毎月末に評価を行い、翌月の指導計画を立案している。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの養育記録は①児童自立支援計画、②月間カリキュラム、③カルテ（日々の記録）で構成されており、職員は保育日誌、事務用連絡ノートで日々の子どもの情報を共有している。預かっている母子健康手帳への成長記録は後々を考えて鉛筆書きにするなどの配慮をしている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	

【判断した理由・特記事項等】

個人情報保護規程に基づいて実施し、保護者から入所時に取り扱いについて児童相談所が同意書をもっている。電子データは院外持ち出し禁止になっており、広報誌に子どもの写真掲載は撮影場所や個人が特定できないように配慮している。



内容評価基準（23項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】	
倫理綱領やマニュアルを策定し、研修会等を通じて共通認識のもと取り組んでいる。支援状況についてアンケートを実施し、子どもへの声かけやタッピング（あやし方）などロールプレイを通して意識統一を図っている。	
(2) 被措置児童等虐待の防止等	
<p>① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
職員アンケートを実施し、安全委員会を通じて不適切なかかわりの早期発見と防止に努めている。マニュアルを整備して研修等で周知を図っている。	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
<p>① A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/>どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。</p> <p><input type="checkbox"/>担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
担当保育制をとって子どもとの愛着関係を育み応答的な姿勢で接している。交代勤務を考慮して声かけに注意し、担当者が交代になる場合にはアルバムを絵本のようにして読み聞かせ、子どもを大切に思っていることを伝えている。	



②	A4 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	
	<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	
	<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの人数が少なく3人くらいの少人数で活動し、なるべく多く担当者とかかわりを持つようにしている。院外保育で買ったおもちゃや絵本、クリスマスプレゼントなど自分のものとして意識できるように養育している。

③	A5 子どもの発達を支援する環境を整えている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	

【判断した理由・特記事項等】

おもちゃが欲しいとか抱っこして欲しいときや遊びの時間など、一人ひとりの要求に対して抱っこしたり傍に寄り添って気持ちを受けとめ、安心感を持てるようにしている。

(2) 食生活

①	A6 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

授乳の量や間隔・授乳方法などがマニュアル等で示されており共通理解のもとで行っているが、子どもには成長に個人差があり状態を観察しながら授乳を行い情報を共有している。

②	A7 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	

【判断した理由・特記事項等】

マニュアルを通して離乳食についての基本的な援助方法を共有している。保育士・看護師・栄養士・調理員で連携しながら子どもの状況に合わせて離乳食を開始し、保育者からの情報を確認している。

③	A8 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気ですぐ食べられるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	
	<input type="checkbox"/> お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの食べようとする意欲が育つように環境づくりを行っている。持ちやすい食器やスティック形状にしたり食べることができない場合は様子を見ながら言葉がけを工夫し、栄養士と相談しておいしく楽しく食べられるよう配慮している。

④	A9 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

保育者・栄養士・調理員が連携し、子どもの体調の変化や食物アレルギー・疾患などに配慮して栄養管理が行われている。栄養部門において食育計画を作成し、調理の様子を見せたり野菜の水やりやきゅうり・ミニトマトなど収穫した野菜を食材に活用し、食育にも取り組んでいる。

(3) 日常生活等の支援

①	A10 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主などときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	

【判断した理由・特記事項等】

主に衣類係が子どもの発達状況や季節等に合わせて一人ひとりの衣類を管理し、下着等は共有のものもあるが肌に刺激のない素材を考慮して対応している。常に清潔を保つよう共通理解のもとで行われている。

②	A11 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

温・湿度計等を使用して、室内環境を整え月齢に応じて乳児・幼児の部屋割りを行い、安心して眠れるよう窓にサンタの絵を貼るなど雰囲気作りも行っている。ベビーベッドには体動センサー・寝返り防止枕を備えて安全に睡眠できるようにしている。

③	A12 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

一人ひとりの発達・発育状況により、新生児は浅い浴槽を使用するなど安全管理等に留意し、職員が交替で入浴当番を行い心地良く入浴できるよう支援している。

④	A13 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

排泄に興味を持ち始めた時から、キャラクターやトレーニングパンツ等の興味を引くような声掛け等を行い、トイレには動物の絵を貼り便座に座って排泄ができるように工夫しながらトイレトレーニングを行っている。

⑤	A14 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもたちには月齢に応じたおもちゃを用意し、自由に遊べるよう手の届くところに置いている。基本的には共有であるが、誕生日やクリスマスプレゼント等の場合は個々の袋に入れて自分のものとして遊べるように配慮している。衛生面・感染防止から毎日使用しているおもちゃは清拭し清潔を保っている。

(4) 健康

①	A15 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	

【判断した理由・特記事項等】

毎月嘱託医による定期健康診断と身体測定を実施し、地域の乳幼児集団健診にも出身市町村から許可証をもらって参加している。毎日の健康観察は個別のカルテ（日々の記録）に記録し、健康観察板・保育日誌、通院後は診療伺い簿にも記入して職員間で共有している。予防接種は預かっている母子健康手帳で確認して、未接種のものは医師と相談しながら計画的に接種している。

②	A16 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	

【判断した理由・特記事項等】

超未熟児で出生した子どもがおり、定期的に受診して成長過程をきめ細かく見守っている。医師の指示により、障害を持った子どもに機能・言語指導等のためにこども医療療育センター庄内支所に通院して、より専門的な治療を受けている。

(5) 心理的ケア

①	A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者への心理的支援は児童相談所が対応している。週2回勤務の心理療法士によって子どもの発達検査とSSP検査（新奇場面法）を実施し、発達の度合を確認して自立支援計画にまとめて養育・支援の現場に活かしている。心理士から職員に向けた学習会も行われている。



(6) 親子関係の再構築支援等

①	A18 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に対応するための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	

【判断した理由・特記事項等】

年2回（8月、1月）発行の広報誌とともに「家庭通信」を保育担当者がコメントを書いて写真を添えて保護者に送付している。電話での様子伺いや面会時の育児相談に対応しており、今年はコロナ禍で面会ができなかったため春に写真で様子を伝えている。

②	A19 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所が方針を決定し、面会・外出・一時帰宅などの段階を経て親子関係の再構築に取り組んでいる。面会室利用の場合も良い関係性が保てるように職員は遠慮するなどの配慮をしている。家庭復帰が間近になって外泊したときは、保護者に「外泊日誌」に自宅での様子を書いてもらい共有している。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A20 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口（担当者）がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

退所は児童相談所が決定し、家庭復帰・里親委託・児童養護施設などがある。家庭復帰の場合は児童相談所が主催するケース検討会（市町村の子ども家庭課・保健師・地区の民生・児童委員・保育園などのメンバー）に参加して引き継ぎを実施している。子どもには成長過程を記録したMY絵本（「〇〇ちゃんのおはなし」）を作成し、読み聞かせをして円滑な移行ができるように配慮している。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A21 継続的な里親支援の体制を整備している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

国は里親委託を推進しており、児童相談所が登録してある里親候補を決定し、総保育長が担当して里親としての適性や子どもとの相性を時間をかけて計画的に進めている。委託後も育児相談などのフォローアップに取り組んでおり、昨年度は1歳未満の子ども1名が里親委託となっている。

(9) 一時保護委託への対応

①	A22 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所から親子引き離しのため一時保護の依頼があった場合は「運営基準」に沿って受け入れる体制を整備している。マニュアルによる手続きを経て児童自立支援計画を作成し、最大2ヶ月まででその後入所に繋がる例が多い。

②	A23 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際の手続マニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	
	<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	

【判断した理由・特記事項等】

緊急一時保護委託は警察や生命の危機に関係する場合もあり、情報が少なく感染症など健康状態に特に気をつけて観察している。夜間帯などは緊急時の待機当番職員の応援を要請するときもある。